

# 優勝報告会

## 優勝の喜びを噛みしめる



▶甲子園出場を称えられる野球部員



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

7月26日に本校野球部が第99回全国高等学校野球選手権滋賀大会の決勝で近江高校に4-1で勝利し、甲子園に出場することが決定した。それを記念して本校体育館で優勝報告会が開催され、集まった生徒、職員、OBたちは選手の栄誉を称えた。なお甲子園は8月7日に開幕される。

主将の松井拓真君(3-5)は決勝での試合について「全校応援が力になった。スタンドの応援はすばらしいもので、選手もグラウンドで力をもらえた」と話した。甲子園出場という結果を受けて「うれしいうちが目標なので、さらなるレベルアップのため1週間チーム一丸となって練習をが



▶甲子園に向け意気込む松井君

んばっていきたい」と意気込んだ。また「自分たちのやってきたことを信じて、相手にこれが彦根東の野球だと見せつけたい」と目標を掲げた。

部長の松林基之先生は「今回は第1シードで厳しいゾーンの甲子園の切符を勝ち取ることができた。甲子園出場は選手、先生、生徒会、そして保護者、みなさんのおかげだ」と微笑まれた。

監督の村中隆之先生は今大会について「私のなかではそれぞれの試合が意味のあるものだった。恐れずに選手を信じていくことを肝に銘じて、選手には自分の思ってきたことを全部伝えた。選手のこの夏の戦いを見れば、何一つ恐れていなかったことがわかる。人と人との繋がりの野球が実を結んだ。縁や野球の神様はいるのだと感じた」と振り返られた。また甲子園出場につ



◀校歌を斉唱する生徒たち

いて「今年で2度目なので出場だけで満足するのではなく、全国で勝てるチームにしたい」と目標を述べられた。

校長の森田恭司先生は部員に向けて「甲子園出場は日頃のたゆまぬ努力と部員の団結の努力、精神力、チームワークがすばらしい。お世話になった人への気持ちを忘れずに頑張ってください」と激励された。

生徒会長の田中海翔君(2-2)は「輝かしいプレーをする選手たちを見させていた。甲子園は熱戦になると思う。練習してきた成果を発揮して楽しんでほしい」とエールを送った。